

夏目漱石生誕 150 年記念

漱石と落語

落語に学ぶ日本文化イン四国大学

主 催 四国大学附属言語文化研究所

日 時 平成 29 年 12 月 21 日 (木) 16 時 30 分～

場 所 四国大学 F205 教室

昨年 2016 年は夏目漱石没後 100 年、今年 2017 年は夏目漱石生誕 150 年にあたります。そこで、四国大学附属言語文化研究所がおくる「落語に学ぶ日本文化」は、夏目漱石と落語との関係についてご紹介します。漱石が落語なんって！と思っているあなた、落語好きの漱石の一面にびっくりすることでしょう。

解説 「落語大好き！夏目漱石」(趣旨説明)

文学部日本文学科教授 須藤 茂樹

落 語 「ちりとてちん」

落語家 入船亭扇蔵

中 入 (休憩)

解説 「夏目漱石作品と落語」

文学部日本文学科教授 友重 幸四郎

落 語 「天 災(てんさい)」

落語家 入船亭扇蔵



入船亭扇蔵師匠のご紹介

人間国宝柳家小三治の盟友入船亭扇橋の一番弟子入船亭扇遊の一番弟子。二つ目遊一時代から徳島(徳島市・吉野川市・美馬市・北島町など)でひとり会を開催。古典落語をさわやかに演じてくれる。「悟気の独楽」や「たがや」「夢の酒」が楽しい。

「子別れ」や「文七元結」といった人情噺も聞かせてくれる。これからは楽しみである。

四国大学でも、言語文化研究所主催事業として、本学と脇町オデオン座で「落語と日本文化」「落語と文化」を開催、それぞれ日本文学科、文学部(日本文学科・書道文化学科・国際文化学科)の教員とのコラボレーションを行っている。(徳島で江戸落語を楽しむ会須藤茂樹)

問合せ先 四国大学学部運営支援課 088-665-9909